

## 「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告

行事名	第2回女性科学技術者講演会（@岡山理科大学会場） テーマ：おかやま発ーサイエンスな女性たちーPart II 講師：山下亜希子氏（株林原生物化学研究所） 塩田澄子氏（就実大学薬学部）		
担当部門・機関	理科教育支援部門・岡山理科大学		
開催日時・期間	平成21年12月12日(土) 14:00～17:30	会場	岡山理科大学40周年記念館 (第25号館8階理大ホール)
<p>《概要》</p> <p>2009年12月12日(土)14:00～17:30、連携拠点「科学 Try アングル岡山」の主催により。岡山理科大学40周年記念館(第25号館8階理大ホール)において、「第2回女性科学技術者講演会 おかやま発ーサイエンスな女性たちーPart II」というタイトルで開催した。</p> <p>本講演は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性科学技術者による講演会</li> <li>・高校生・大学生・大学院生による研究交流会（ポスター発表会）</li> </ul> <p>からなる二部構成で行われ、参加者は136名であった。</p>			
<p>《参加者》</p> <p>岡山県内の高校生86名・大学生11名・大学院生5名・教育関係者31名・一般3名、合計136名</p>			
<p>《報告事項》</p> <p>昨年度3月に実施した第1回では、岡山県の大学を卒業し、実社会で活躍する女性科学技術者の講演であった。また、アンケートで生命科学や医療科学の分野で活躍している人の講演が聞きたいとの意見が多かったことから、今年度は、現在、岡山県で活躍する女性科学技術者で、生命科学および薬学の分野で活躍している2名の方を講師としてお招きし講演会を開催した。</p> <p>講師と演題は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山下 亜希子氏（株 林原生物化学研究所） 「私の進むべき路の見つけ方。～理系研究員として、女性として～」</li> <li>・ 塩田 澄子氏（就実大学薬学部） 「キャリアー中断も悪くない！女性研究者への道を考える」</li> </ul> <p>であった。</p> <p>山下氏の講演は、どのようにして理科系の進路を選んだきっかけと家族の反応やサポート、大学で研究テーマを選ぶきっかけ、大学院での研究生生活、ポスドク時代の悩み、そして現在の会社に入ってから生活に関する経験談を講演していただいた。講演の中で、理科系の進路を選ぶ際に、初めは否定的であった母親が最終的に後押ししてくれたというお話が印象的であった。また、技術者として、何か製品を作り出すという強い意志を持って研究を行っていることは、これから科学技術者を目指す若い学生たちに、研究における厳しさと楽しさを伝えるものとして心に残るものであった。</p>			

塩田氏の講演は、理科系の分野に興味を持ったきっかけ、大学・大学院での研究生生活、結婚・出産に伴う研究のブランクとその後、大学の教員として研究に復帰した経験談に関する講演から、現在の日本における女性科学技術者の現状と支援策に関する話に広がっていった。中でも「キャリアの中断は決してマイナスではなくそれをポジティブに捕らえ、人間として大きく成長する期間であったと考えている。」というお話が印象に残った。また、ブランクの期間には、研究者として復帰するため勉強や周りの協力をお願いするための準備を怠らなかつたというお話は、パスツールの言葉「チャンスは誰にでも訪れる。しかしそれを捕まえることができるのは準備をしていた人である」とともに、若い学生たちの心に響いたのではないかと考える。さらに、これから日本で女性科学技術者がますます活躍するために必要な支援策や考え方についての提起は、講師の経験に根付いたものであり、非常に示唆に富んだものであった。

講演終了後の質疑応答では参加者から活発な質問が寄せられ、山下氏、塩田氏の両講師から丁寧なコメントがなされた。

また、講演会に引続き研究交流会を開催した。主として女子高校生による計24件のポスター発表が行われ、塩田氏、山下氏および一般参加者（大学・高校教育関係者等）と交流を行った。発表内容はいずれもバラエティに富んでおり、どれひとつをとっても興味深いものであった。かなりハイレベルなものもあり、現在の高校生の高い研究レベルを垣間見ることができた。なお、両講師から発表者に対して激励と丁寧なコメントを頂いた。



山下垂希子 講師



塩田澄子 講師



研究交流会（ポスターセッション）の様子



研究交流会後の講評

## ■参加者アンケートの結果

講演会において昨年と同じ質問事項について、アンケートを実施した。結果を昨年度と比較すると、「今回の講演会で理工系分野への興味が増しましたか」という問いに対しては「大いに増した」「まあまあ増した」をあわせて昨年とほぼ同じ89%であり、本稿宴会の目的を果たせたものと考えられる(図1)。また、「研究交流会はいかがでしたか」という問いに対しては昨年とほぼ同じ94%であり、コメントに、自分たちと同年代の学生たちの発表を見ることができてよかったとの意見があることから、多数の高校に発表を呼びかけることの意義があったものとする(図2)。なお、「次回の講演会ではどのような分野の話が聞きたいですか」との問いに対しては、昨年と比べて地球科学分野の回答が非常に多かった(図3)。

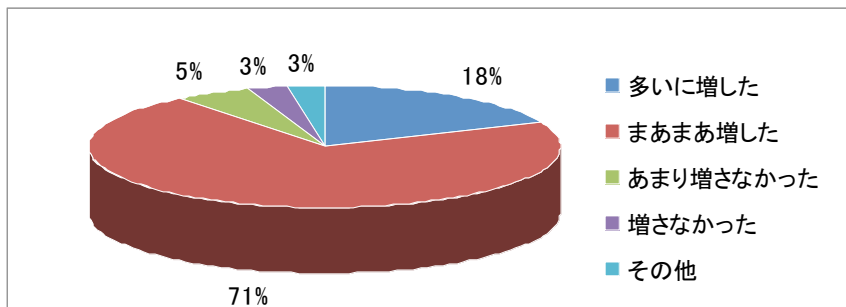


図1. 「今回の講演会で理工系分野への興味が増しましたか」に対する回答分布

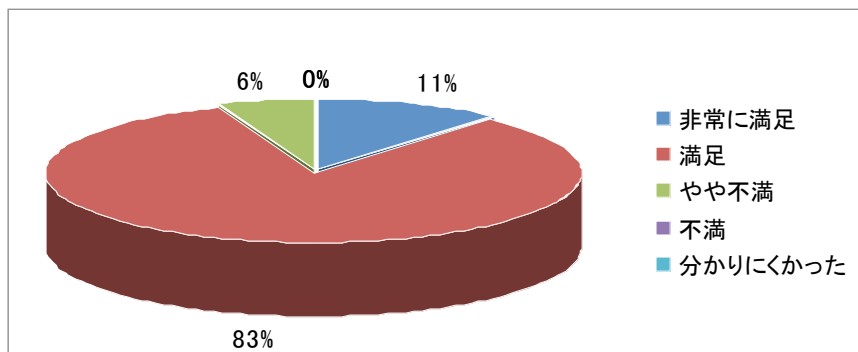


図2. 「研究交流会はいかがでしたか」に対する回答分布

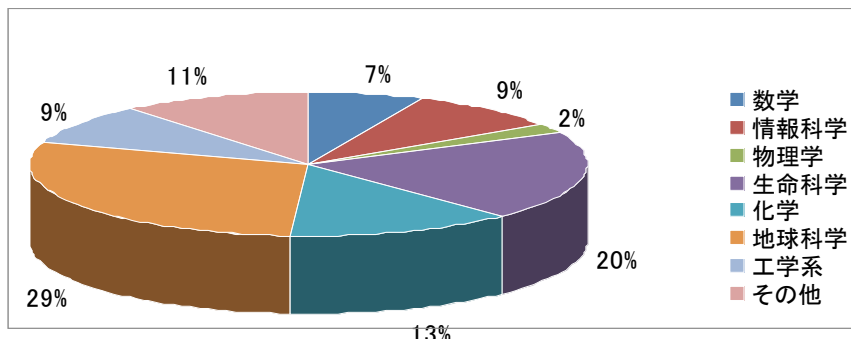


図3. 「次回の講演会ではどのような分野の話が聞きたいですか」に対する回答分布

## ■講演会と研究交流会についての感想・意見

- 大学生や中・高校生の参加がもっと多くなるよう宣伝広報された方がよいと思います。もったいない気がしました。
- ためになる講演でした。子供にも話してやろうと思います。
- 女性の研究者というのは今のところ少ないけど、これから増えていてもらいたいと思ったし、男性も女性が活躍するために育児への協力や仕事への理解などしていくべきだと思った。
- 講演会については講師の先生のお話はこれからの私達の生活に十分関係のあるものでとても勉強になり、これからの生活に生かしていければよいと感じました。
- 薬学部に興味があるので、薬学部での研究のお話はとても面白かったです。
- もっと専門的な話も聞きたいです。
- 他の方の発表を聞いて良い刺激になりました。
- 女性研究の在り方の1例を学べただけでなく、ポスターやプレゼンテーションなどの効果的な演出方法を学ぶことができ、有意義なものとなった。
- どちらの講演からも現在の日本の制度や雰囲気はまだ女性研究者に対して適した環境ではないということである。講演してくださった二人の意見が実現すればよいと思う。
- 講演会は実体験ばかりでとても参考になった。2人の先生が研究していることがこれからの世の中で役立つことだったので驚いた。
- とてもためになる普段聞けない貴重なお話でした。ありがとうございました。
- ポスター発表交流会の時間がちょうど良い長さでした。
- 自分たちと同じ年代の女学生たちが研究しているものを見ることができて良かった。
- わざわざ土曜日にやるのはやめてほしい。
- もっと多くの生徒・学生が参加できるようになればと思いました。
- 女性として理系に進むことについて参考になった。理系の道に進もうと思ったとき悩んだら今日のお話を参考に考えようと思った。私達に身近な岡山の林原の話があったのも興味深かった。
- Try アングルはいろいろな角度から様々な取り組みをしているのでこれからも続けてほしいと思います。
- 同年代の人の課題を見るのはとても有意義でした。
- たくさんの人と触れ合うこと、たくさんのお話を聞くことができる場があることはいいことだと思う。
- 山下先生の糖転移ヘスペリジンによる生体リズムのことがとても深く印象に残りました。生活リズムの悪い自分にはとても興味深い話で、もしも山下先生の研究が完成された際、多くの人に役立つのだろうと感じました。
- 女性が理工系に進むことに勇気がでた。
- 磁界の測定がよかった。
- 自分が研究に対して抱いていた不安の道を歩んできた方々のお話を聞いて、とても参考になりました。自分とは違う様々な視点からの研究はとても面白かった。
- 山下様・塩田先生の話はいずれも大変参考になりました。特に塩田先生のお話はブランクをブランクとしないよう準備することの大切さがよく分かりました。
- とても興味のあるお話を伺うことができてよかったです。

- 自分の将来における先輩の話聞いて良かったです。
- 人が多くて自由に動けなかった。お菓子はなくても良いと思う。
- 山下さんのお話は自分の進路にとっても関係の深い内容で楽しみでした。そしてお話を聞いてますますその道に進みたいと強く思いました。だから今第一志望の大学に行くことは難しいけど、もっと頑張ろうと思いました。
- 女性研究者の方たちのお話が聞いて将来の参考になった。

■ 謝辞

本講演会の実施にあたり、岡山県、岡山市、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会および岡山理科大学同窓会（半田山会）には、後援を頂いた。ここに関係各位に感謝する。

また、昨年同様、本講演会ポスターデザインを倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科の篠岡 希さんにご協力を戴いた。

(右図：講演会ポスターデザイン)





表. 研究交流会ポスター発表リスト

No.	発表者氏名	所属	発表タイトル
1	岡本奈波	玉島高等学校	天の川銀河の恒星の数と分布
2	岸妙穂	玉島高等学校	抗ガン剤による植物の細胞分裂の影響
3	佐藤梨香	玉島高等学校	毛糸染色法と薄層クロマトグラフィーによる合成着色料の分析
4	穴貝翔子	玉島高等学校	サニーレタスの生育に必要な元素
5	筒井優美	玉島高等学校	杉谷川(浅口市金光町)の水質調査
6	流尾真衣	玉島高等学校	亜硝酸ナトリウムの発色効果
7	原田瑞穂	玉島高等学校	活動銀河核とブラックホールの関係
8	藤尾倫梨子	玉島高等学校	ショウジョウバエの紫外線照射後の変化
9	山田悠海	玉島高等学校	砂層を用いてのろ過による水の浄化
10	渡辺早也佳	玉島高等学校	食品添加物の除去および、栄養素の流出
11	加藤成恵, 齋藤朱里, 滝満里子	倉敷天城高等学校	測量における誤差の補正について
12	安喜絢香, 渡邊優子	倉敷天城高等学校	身近な製品の匂いに対する蚊の反応
13	日下貴博, 那須雄大, 原田優紀, 山下令華, 吉澤史香	倉敷天城高等学校	スプライトの観測
14	廣江瑞季, 大村早希, 釋成美, 城内瑞穂, 田中智子, 藤井宏美	清心女子高等学校	デジタルオシロスコープを使つての磁石の強さの測定
15	小川紗代子, 加藤奈々, 杉山舞, 中西敦美, 西真友子, 西原夕理, 松尾有紗, 松本海里	清心女子高等学校	抗酸化物質がおよぼす、果物電池の内部抵抗への影響
16	福井彩, 有川知里, 貞國麻里恵, 吉村瑛美, 佐々木真裕, 中村志穂, 日笠美耶, 宮本雅子, 吉本彩子	清心女子高等学校	調理がおよぼす、食品中の抗酸化力への影響
17	小林美貴, 種岡千遥, 西美来, 野口詩織, 野道優衣, 原まりか, 山本奈央	清心女子高等学校	化学物質と濃度による発芽の差異

No.	発表者氏名	所属	発表タイトル
18	青山真子, 荒川好恵, 竹入美佳子, 末次佳代, 永井由子, 信江琴音, 三村茜, 三 好悠香	清心女子高等学校	花の開閉リズムの環境への適応
19	清野裕子, 竹居セラ, 鈴木美有紀, 三宅舞	清心女子高等学校	人工林と自然林ではどちらの二酸化炭素吸 収能力が高いか
20	岩崎智子, 神寶理恵, 原明友香	岡山一宮高等学校	クローバーの発芽に及ぼす外的環境の影響
21	森安歩, 石原千尋, 清水絵美香, 坪田海悠, 中山育子	岡山一宮高等学校	カプセルの溶解条件 ～薬用以外の応用を 目指して～
22	坂井はな, 濱真貴子	岡山一宮高等学校	付着珪藻からわかる水質
23	入矢美沙, 國光美咲	岡山一宮高等学校	紅葉に影響を及ぼす外的要因
24	川村真未	岡山理科大学大学院	医療機器の電氣的安全管理機器の開発に関 する研究～ 臨床工学技士の業務紹介を兼 ねて ～